

大手商社、住友商事の社員が講師を務める出前授業「ミライスクール」が、長崎市の県立長崎東高（立木貴文校長、810人）である。同校OBを含む社員が自らの経験談を通じ、1年生約280人にキャリアを考える上で心構えなどを伝授した。

ミライスクールは、持続可能な開発目標(SDGs)活動の一環として同社が2

020年度から全国の高校で開いている。

講師は長野辰宏さん(50)、同社鋼管次世代事業推進部II、上野真未さん(37)II、住友商事ファイナンシャルマネジメント、コーポレート経理部IIと、吉本太郎さん(45)II住友商事九州、機電建築設備部II。

同校出身の上野さんは、自身の就職活動時に都市部の学生と情報量などで差を感じたことを踏まえ「おじけづいたりするかもしれないけど、問題ない。負けない気で挑んで」とアドバイスした。吉本さんは「面倒

## 就職活動 アドバイス

長崎東高 住友商事が出前授業



だと思うことこそチャレンジして。自分の成長につながる」。長野さんは「楽しさにしてる人には人が集まつてくる。楽しそうにいろいろなことに挑戦してみて」とそれぞれ呼びかけた。講師と生徒が意見を交わすランチミーティングもあつた。

(柴崎優衣)

生徒に就職活動のアドバイスをする上野さん  
＝長崎市立山5丁目、長崎東高